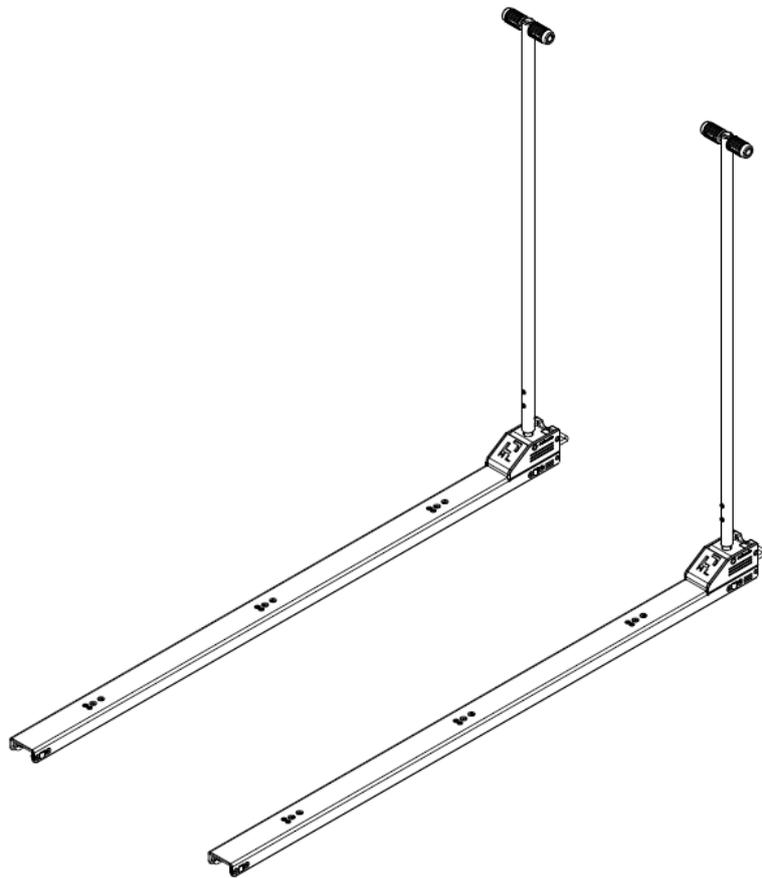




AJ Skater HL

エージェイ・スケーター ハイリフト

取扱説明書



オールセーフ株式会社

〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-8日石横浜ビル9F

TEL 045-681-8171

FAX 045-681-8170

目次

1.はじめに	1
2.概要	2
3.特徴	2
4.種類・仕様	2
5.仕組み	3
6.操作方法	3
7.メンテナンス・修理	4
8.構成部品	8

使用にあたっての注意

下記の安全に関する警告シンボルが記載された事項は必ず守ってください。

ご使用になる前に以降に記載の「AJスクーターの仕組み、能力」「操作方法」「取扱の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 警告	誤った扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った扱いをすると人が障害を負う可能性や物的障害の発生が想定される内容を示します。
 注意	誤った扱いをすると人が障害を負う可能性や物的障害の発生が想定される内容を示します。

1.はじめに

このたびはエージェイ・スクーター(AJS)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品はトラック庫内においてパレット(荷物)を移動するための「荷搬送台車」です。用途以外の目的にはご使用にならないでください。

また、ご使用前には、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになったあとは、本書を大切に保管してください。

なお本製品に関する危険の全てを予知することは弊社にとっては困難な課題です。したがって、この取扱説明書と注意シンボルマークが必ずしも全ての危険を説明しているわけではありません。

しかし本取扱説明書に記載された弊社のお勧めする方法でお取り扱い頂ければ、安全にご使用いただくことは可能です。周囲の状況も含め十分にご注意いただいたうえで、ご使用ください。

2.概要

エージェィ・スケーター(AJS)はAJS本体(以下本体と呼ぶ)と荷上用レバー(以下レバーと呼ぶ)の組み合わせでトラック庫内においてパレット(荷物)を移動するための機器です。この機器はトラックの床面に埋め込まれた専用レール上にてご使用ください。

3.特徴

3-1.すべての部品を社内で製作

厳しい品質管理のもと、すべての部材の「設計」「加工」「組立」「検査」を自社工場にて行っています。

3-2.サイドローラー内蔵

左右の本体間の傾きによるフレームとレールの干渉を防ぎ、良好な操作性を実現しました。

3-3.不凍ベアリングの採用

凍結によるローラーの損傷や固着などを防ぐ目的から凍結防止ベアリングを採用しております。

3-4.折り曲げ型フレームの採用

本体荷受部の角を丸くすることでレール内での反転が容易になり、作業性が向上しました。

3-5.滑り止め用スリット加工

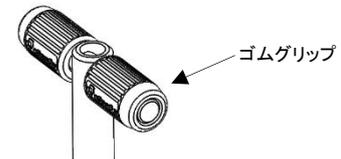
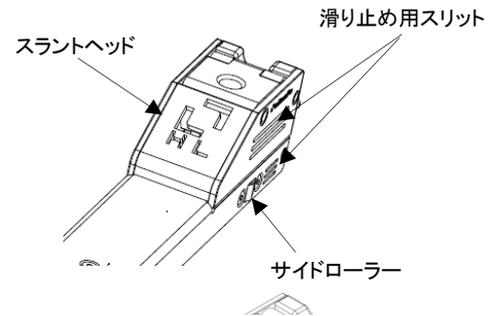
AJSをレールから持ち上げ易くする目的から、滑り止めとなる溝(スリット)を本体頭部に設けました。

3-6.スラントヘッドの採用

荷物を載せやすくするため、ヘッドの角を斜めにカットしています。パレットがヘッドに干渉した場合に斜面に沿ってスライドし、ヘッド部分の損傷と衝撃による本体の変形を防ぎます。

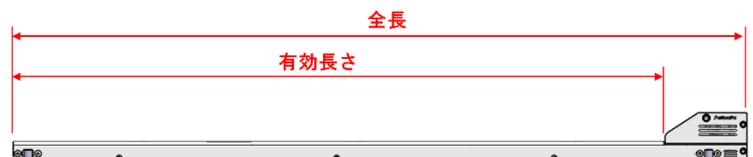
3-7.ゴムグリップ付 T字レバー

力を入れやすいT字形状で操作性が良く、また握り部をシリコンゴム製としていることから冷凍車で使用する際も冷たさを感じません。

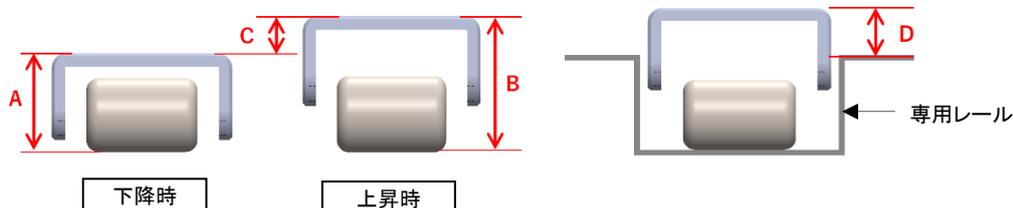


4.種類・仕様

本体品番/注番	全長 (mm)	有効長さ (mm)
AJSHL-1000-T	1125	999
AJSHL-1100-T	1225	1099
AJSHL-1200-T	1325	1199



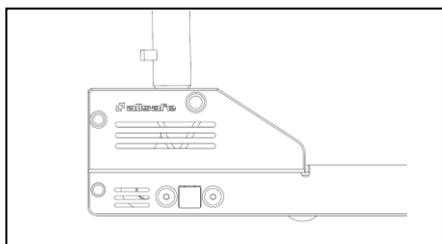
仕様項目	仕様	備考
荷重	1500kg	本体 2 本で
下降時高さ(A)	31mm	リフトダウン時
上昇時高さ(B)	51mm	リフトアップ時
本体上昇高さ(C)	20mm	リフトアップ量



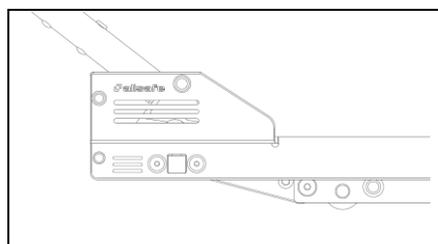
5.仕組み

5-1.上昇・下降について

AJSはリフトアップ用レバーの操作で本体を上昇・下降させることが可能です。
この仕組みでパレット(荷物)を床面から持ち上げたり、下ろしたりすることが可能です。



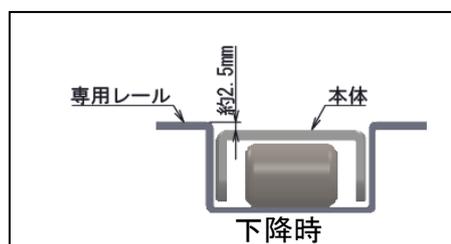
下降時



上昇時

5-2.レール高さとの関係について

本体は専用レールの中に入れて使います。
下降時には本体のパレット受け部(有効長さ部)は専用レールよりも低い位置になる様、設計されています。そのため、パレット(荷物)の下に本体をすべり込ませることが可能となります。



5-3.台車型走行機構の採用でパレット移動が可能

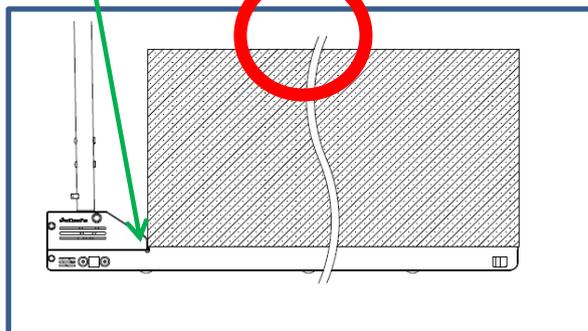
本体に走行ローラーが付いていますので下降時でも上昇時でも移動させることが可能です。
リフトアップによってパレットを床面から浮かせることでパレットを目的の場所まで移動できます。
本体を下降させるとパレットが床面に接地し、パレットと本体が離れます。
このような状態になれば、本体をパレットの下から引き抜くことが可能です。

6.操作方法

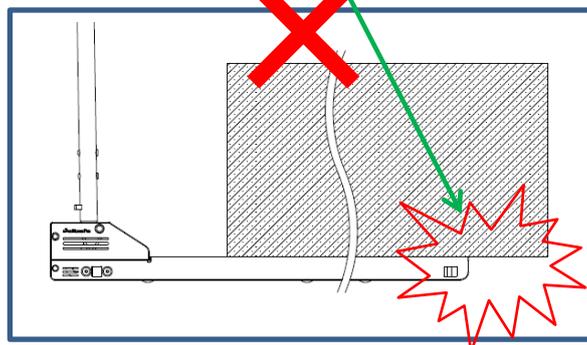
AJSの正しい使い方を以下に記します。

- ① 下降状態で本体を専用レールへすべらせながら、パレット(荷物)の下へすべり込ませます。
- ② AJS本体の後端から荷がはみ出さないようにして下さい。

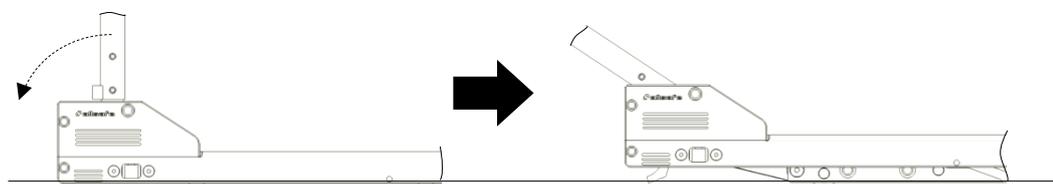
荷の先端が本体頭部間際になるようにして下さい



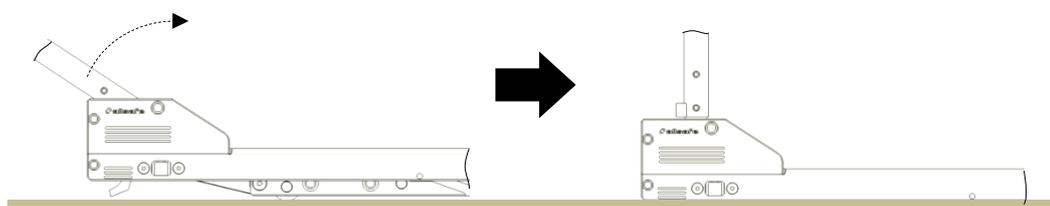
荷がAJS本体の後端からはみ出さないようにして下さい。



- ③ 本体頭部の上面にある穴にレバーを奥まで差し込んでください。この時、レバーが垂直の状態になります。
- ④ レバーを垂直に保ったまま突起物が手前に来るようにレバーを回転させてください。
- ⑤ レバーのグリップ部を両手で握って止まるまで手前に倒します。本体の上昇と同時にパレットが床面から浮き上がります。



- ⑥ 一方の本体が完全に上昇したら、もう一方の本体も同じ手順で上昇させます。両方の本体が上昇すると、パレット(荷物)が床面から浮いた状態になり、パレットを動かすことができます。
- ⑦ 荷物後部から手押しを行い、目的の場所までパレット(荷物)を移動させます。パレット(荷物)を手前に移動する時は荷物間に隙間が無く作業者が荷物後部に回れない場合があります。その時は左右のレバーのグリップ部をしっかり握って、パレット(荷物)を手前に少し移動させた後で荷物後部に回り、手押しによりパレットを移動させてください。
- ⑧ パレットを目的の場所に移動させたら、レバーのグリップを両手でしっかり握ってゆっくり垂直の状態まで前方へ戻してください。本体が下降します。



- ⑨ 両方の本体が下降するとパレット(荷物)は床面に接地し安定します。
- ⑩ パレット(荷物)の下から本体を引き抜いて次の作業の場所に移動させ、次の作業に入ります。

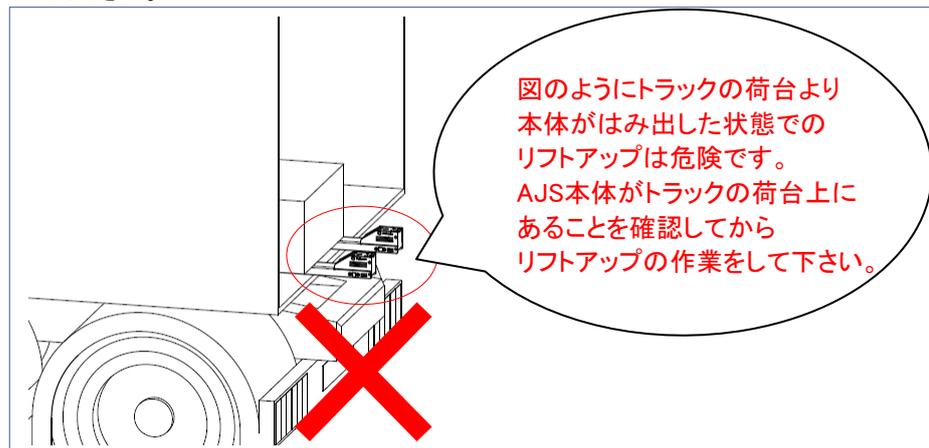
7.メンテナンス・修理

- ① 本体を定期的に掃除してください。ゴミやほこりが付いて固まると、本体のすべりが悪くなり破損の原因となります。ゴミなどを定期的に取り除いてください。
- ② 専用レール内も定期的に掃除してください。専用レール内にゴミや埃(ほこり)がたまっていると本体のローラーが巻き取ってしまい、すべりが悪くなり破損の原因になります。
- ③ 本体に潤滑剤(特に浸透性のある潤滑剤)を注入したり、塗布したりしないでください。液状の潤滑剤はローラーのベアリング内のグリスを流してしまい、ローラーの寿命を縮めます。
- ④ 専用レールに油を注したり、塗布したりしないでください。油を塗布すると専用レールに埃(ほこり)が付着してしまうためローラーが動き難くなり、滑りが悪くなります。ローラーが油の上を滑る状態となれば「片減り」をおこしローラーの寿命を縮めます。
- ⑤ 本体の各部品は使用を続けることにより、確実に摩耗します。定期的に動作状況、ガタなどをチェックして異常があれば修理を依頼してください。(修理は有償にて受け賜ります)

- ⑥ ローラーのすべりが著しく悪くなった場合は、ローラーが摩耗している、あるいはフレームが曲がっている事などが考えられます。このような場合は修理を依頼してください。(修理は有償にて受け賜います)
- ⑦ 本体にレバーを入れて手前に倒しても上昇し難い場合は、直ちに使用を止めて修理に出してください。そのまま使用し続けると荷を上げる際に完全に上昇しない状態で本体が下方へ落ち込むことがあり、その反動でレバーがはね返ったり飛び出したりすることがあり危険です。
- ⑧ 修理については、代理店、取扱店または弊社担当者までお問い合わせください。

使用に当たっての禁止事項

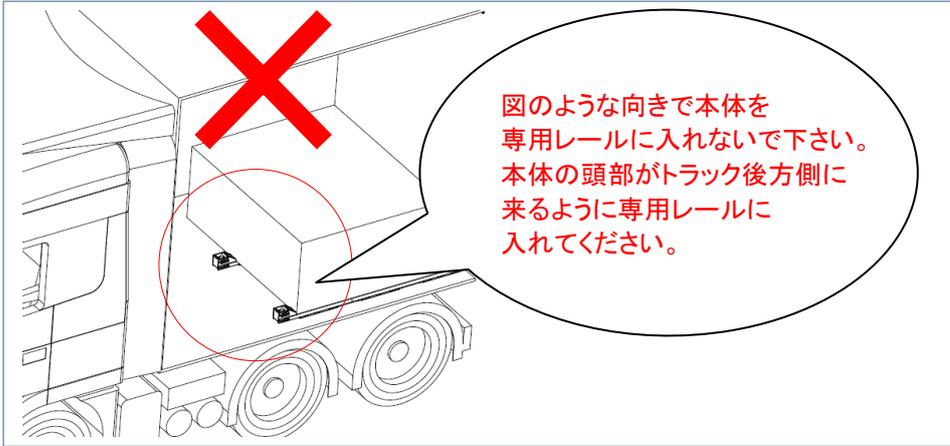
- 専用レールからオーバーハングした状態でレバーを操作しないでください。故障の原因になります。ローラーが全てレールの中に収まっていることを確認してから操作してください。



禁止

- 必ず両手でレバーを操作してください。片手で操作するのは危険です。
- 上昇させる時は、完全に上昇するまで絶対に両手を離さないでください。上昇途中で離すと本体が下へ落ち込み、その反動でレバーが前方へはね返ったり、飛び抜けて危険です。
- 必ず片方ずつ順番に上昇させてください。両方一度に上昇させるのは危険です。
- パレット(荷物)を移動させる時は、動かす方向に人がいないか、傷害物がないか十分に確認してから移動してください。
- 下降させる時は、完全に下降するまでに絶対に両手を離さないでください。下降途中で手を離すと本体が下降するはずみでレバーがはね戻ったり、飛び出したりして危険です。
- 必ず片方ずつ順番に下降させます。両方一度に下降させるのは危険です。

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● AJSを使用する場合は、必ず荷台が水平な状態で使用してください。本体は上昇・下降にかかわらずローラーが回転し、すべる構造になっています。急斜面や荷台に傾斜のついた状況で使用すると重い荷物が滑り出して落下する恐れや、背の高い荷物が車外に崩れる恐れがあるため大変危険です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 荷台に敷かれたレール、AJS 本体、パレット下部などの「隙間」に手や足などを入れないでください。挟まれる危険性があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● AJS を分解・改造しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くに化学薬品のある環境下での使用および保管は行わないでください。

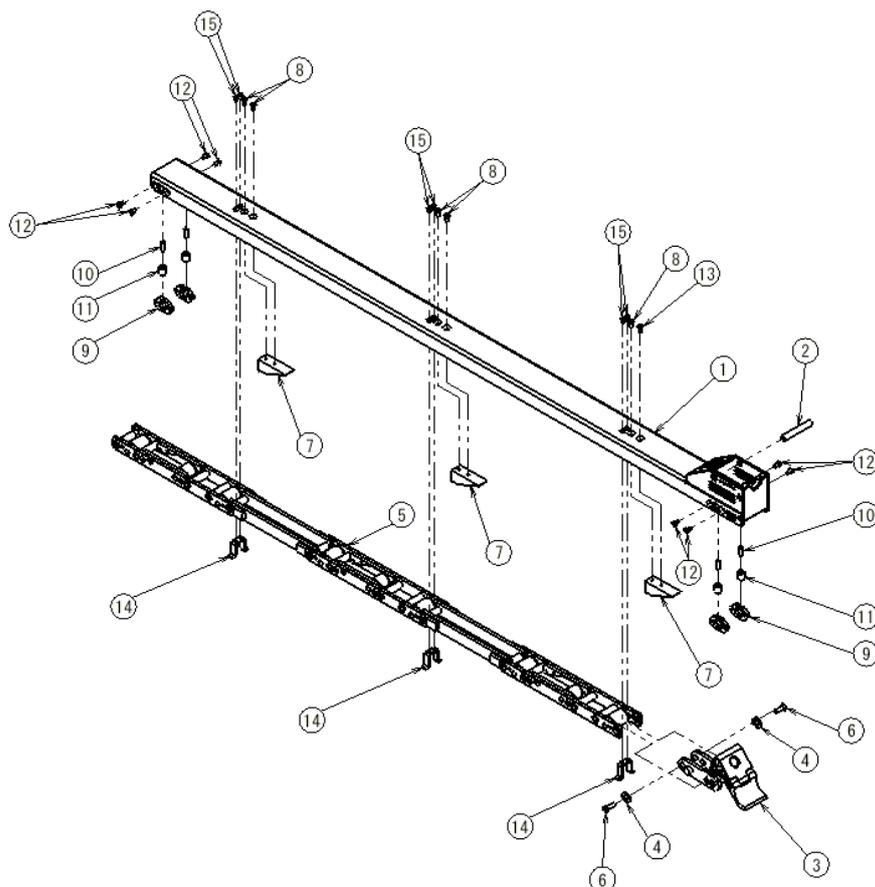
<h2>使用に当たっての注意事項</h2>	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● AJSシステムは必ず2台の本体と2本の専用レールでご使用ください。また、必ず専用レールと一緒に使用してください。 ● AJS本体は必ず専用レールの中に入った状態でご使用ください。 ● 本体の向きが決まっています。必ず本体の頭部がトラック後部側に来るように専用レールに入れてください。
	 <p style="color: red; text-align: center;"> 図のような向きで本体を専用レールに入れしないで下さい。本体の頭部がトラック後方側に来るように専用レールに入れてください。 </p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● パレット(荷物)は使用する本体の有効長さに合致したサイズ(長さ)のものを使用してください。本体サイズは3種類ご用意いたしております。
	<ul style="list-style-type: none"> ● パレット(荷物)の端が本体頭部間際まで来るように本体を動かしてください
	<ul style="list-style-type: none"> ● パレット(荷物)を移動する時は緊急停止できるよう、移動速度には十分注意してください。 ● トラック後部にてフォークリフトでパレット(荷物)を積み下ろしする際は積む時も、降ろす時も本体は必ず下降状態にしておいてください。また、レバーは必ず本体から抜いた状態で作業を行ってください。



必ず守る

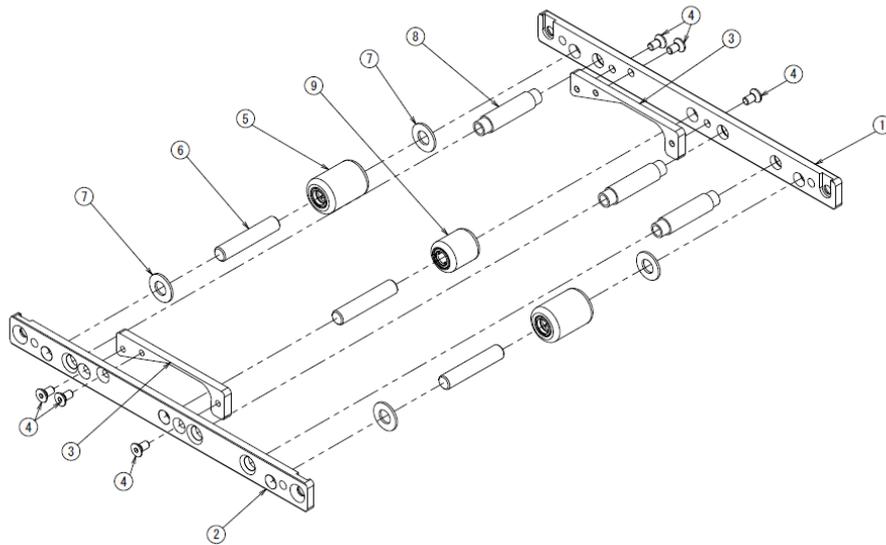
- トラック後部にてフォークリフトでパレット(荷物)を積み下ろしする際は、パレットが本体の頭部に当たらないように注意してください。また専用レールの後部端より内側(運転席側)の位置で行って下さい。頭部に当たって重なりオーバーハングした状態で積み込むと、本体の反りや曲がりの原因になります。
- AJSは、必ず耐荷重以内で使用してください。
- トラック後部にてAJSを使用してパレット(荷物)を上昇させる際は、必ず本体のローラーが全て専用レールの中に入っていることを確認して使用してください。本体のローラー全てが専用レールの中に入っていない状態で上昇させると、落下の危険と本体を破損する原因となります
- 荷物をパレットに積む際、本体にかかる荷重が均等になるよう、パレット上の荷物は出来る限り均等に積んでください。
- 本体の上昇・移動・下降の際には、荷崩れ防止の為にパレット上の荷物は安定した積み方をしてください。積み方が不安定な場合は、倒れたり崩れたりしないよう確実に固定したうえで作業をしてください。
- 本体を下降させる時は、パレット(荷物)の下に足などをはさまないように十分注意してください。
- トラック走行中に空荷となった本体が専用レール内や庫内を移動しないような状態で収納してください。危険であるとともに、本体の破損の原因となります。
- AJSシステムを使用しない場合は荷台のレール内に置いたままにせず、作動しないような状態で収納してください。
- 平坦な場所であっても専用レールが設置されていない状況では AJS を使用しないでください。非常に危険です。
- AJSを荷台から車外へ放るなど、乱暴な取扱いをしないでください。破損原因になるだけでなく、機具の寿命も短くなります。
- T字レバーは消耗品です。使用頻度や荷重の状態にもよりますが、金属疲労によるレバーの破損が考えられます。作業の前後に、レバー先端の本体差し込み部付近を点検してください。大きな変形や繰返し荷重による波模様(変色)、ヒビなどの、金属疲労の兆候があった場合には弊社にご連絡いただき、新しいレバーをご購入下さい。
- ローラーは消耗品です。使用頻度や荷重の状態にもよりますが、金属疲労によるローラーの破損が考えられます。作業の前後に、ローラーの状態を点検してください。大きな傷やローラーが回転しにくかった場合は弊社にご連絡いただき、新しいローラーと交換して下さい。
- その他、特殊な条件下でご使用になる場合には弊社までご連絡ください。

8.構成部品



AJ スケートー本体 HL

No.	品番	品名	数量
①	AA-2662-10	AJS フレーム ASSY HL 1000mm タイプ用	1
①	AA-2662-11	AJS フレーム ASSY HL 1100mm タイプ用	1
①	AA-2662-12	AJS フレーム ASSY HL 1200mm タイプ用	1
②	PA-2260-10	AJS サイドプレートピン 1	1
③	AA-2661-10	AJS カム ASSY HL	1
④	φ 10.5 × φ 18 × t1.6	小型ワッシャー	2
⑤	AA-2660-10	AJS リンクローラーASSY HL 1000mm タイプ	1
⑤	AA-2660-11	AJS リンクローラーASSY HL 1100mm タイプ	1
⑤	AA-2660-12	AJS リンクローラーASSY HL 1200mm タイプ	1
⑥	M6 × 20L	六角穴付皿ねじ	2
⑦	PA-4001-10	AJS ガイドレール HL	3
⑧	M5x12L	六角穴付き皿ねじ	5
⑨	PA-4210-10	AJS ピンホルダーHL	4
⑩	PA-2370-10	JS サイドローラーピン	4
⑪	ニードルベアリング	サイドローラー	4
⑫	M5x10L	六角穴付皿ねじ	8
⑬	M5x12L	六角穴付き皿ネジ	1
⑭	PA-4002-10	AJS ガイドプレート HL	3
⑮	M5 × 8	十字穴付特皿小ねじ	6

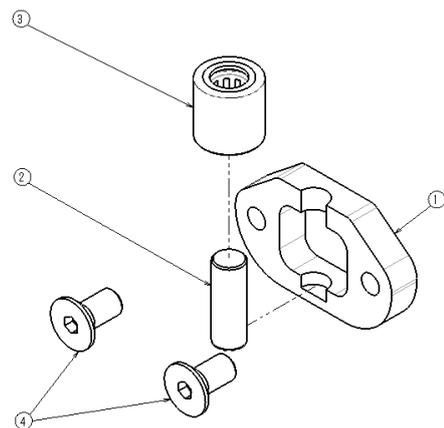


AJS ローラーユニット ASSY HL

No.	品番	品名	数量
①	PA-3999-10	AJS リンク 1A HL	1
②	PA-3999-11	AJS リンク 1B HL	1
③	PA-4000-10	リンクガイドステーHL	2
④	M5×10L	六角穴付皿ねじ	6
⑤	PA-2668-10	AJS メインローラ ASSY	2
⑥	AA-2265-10	ローラーピン	3
⑦	スラストワッシャー	樹脂ベアリング	4
⑧	PA-4189-10	スペーサーピン HL	3
⑨	AA-2669-10	AJS ピボットローラーASSY	1

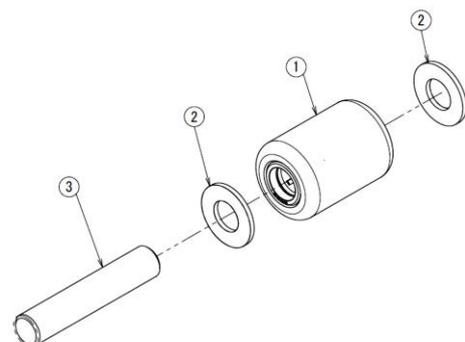
AJ スケートー サイドローラーセット

No.	品番	品名	数量
①	PA-4210-10	AJS ピンホルダーHL	1
②	NK6/12T2T/ TR61212E06	ニードルベアリング	1
③	PA-2370-10	AJS サイドローラーピン	1
④	M5×10	六角穴付皿ボルト	2



AJ スケートー サイドローラーセット

No.	品番	品名	数量
①	AA-2668-10	AJS メインローラ ASSY HL	1
②	GTM-1020-015	スラストワッシャー	2
③	PA-2265-10	AJS ローラーピン	1



【Memo】

オールセーフ株式会社

〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-8日石横浜ビル9F

TEL 045-681-8171 FAX 045-681-8170

第一版 2021年2月25日
第二版 2022年5月27日
第三版 2023年5月8日
第四版 2025年4月22日
第五版 2025年6月23日
第六版 2025年10月15日